

第2次北斗市総合計画 基本計画（素案） 委員意見等一覧表

【しごとづくり部会所管】

○基本目標 1 新幹線を活かした元気で魅力あるまちづくり

基本計画名		ページ
基本計画 1	企業誘致の推進と雇用の拡大	1
基本計画 2	農林業の振興	5
基本計画 3	漁業の振興	7
基本計画 4	商工業の振興	9
基本計画 5	観光の振興	11

基本目標 1 新幹線を活かした元気で魅力あるまちづくり

基本計画 1 企業誘致の推進と雇用の拡大

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
1	意見	<p>共通事項（計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> シンボルテーマ設定の基本的な考え方にインパクトとあるが、必要か。 インパクトを重視すると、見る側が疑問を持ったり、親しみやすさと背反することもあるのではないか。 	<p>インパクトがあり、対外的なアピールが期待できること。</p>
2	質問	<p>主要施策（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型スーパーなど新幹線関係で場所を探していると聞いているが、大々的PRして誘致するのか、地元の既存の小さなスーパーとの兼ね合い、その辺はどうなのか。 七飯町と競争になっており、情報では七飯町が一步リードしているが、どのように捉えているのか。 企業に対してPRはしているのか。 	<p>1 企業誘致の推進</p> <p>①高速交通アクセスに恵まれた本市の立地環境を活かし、豊富な地域資源や労働力を活用できる企業誘致を推進します。</p> <p>②首都圏や北海道新幹線沿線でのPR活動や企業訪問、各種イベントを通じ、企業の立地動向と企業ニーズの把握に努めます。</p> <p>③地域企業及び高等教育機関、試験研究機関などと連携し、企業ニーズに対応した支援策の充実を図ります。</p> <p>④鉄道、空路、海路などの流通環境に恵まれた工業適地としての優位性に着目し、誘致可能な工業適地の把握と情報の提供に努めます。</p>
3	質問	<p>主要施策（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致に関連するが、どれだけの人を取り込むかという想定はどのようにしたのか。 今あるところに人が集まらないというのは、メリットだけでなく、魅力のあるものがなければ行かないと思うので、やはり地元、近隣の方たちが常に足を運ぶようなものを考えていただければと思う。 	<p>1 企業誘致の推進</p> <p>①高速交通アクセスに恵まれた本市の立地環境を活かし、豊富な地域資源や労働力を活用できる企業誘致を推進します。</p> <p>②首都圏や北海道新幹線沿線でのPR活動や企業訪問、各種イベントを通じ、企業の立地動向と企業ニーズの把握に努めます。</p> <p>③地域企業及び高等教育機関、試験研究機関などと連携し、企業ニーズに対応した支援策の充実を図ります。</p> <p>④鉄道、空路、海路などの流通環境に恵まれた工業適地としての優位性に着目し、誘致可能な工業適地の把握と情報の提供に努めます。</p>
4	意見	<p>主要施策（1-②）</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業誘致について、どのような方法でPRしているか具体的に示すべき。 	<p>1 企業誘致の推進</p> <p>②首都圏や北海道新幹線沿線でのPR活動や企業訪問、各種イベントを通じ、企業の立地動向と企業ニーズの把握に努めます。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> • 北斗市は、誕生して10年でまだ知名度が低いことから、シンボルテーマは、広くいろんな場面で市外の方の目に触れ、知名度アップやPRにつながるという側面的効果を期待したものの。 	<ul style="list-style-type: none"> • インパクトは、側面的な効果を期待したものであり、親しみやすいなどの第一義的な考え方は重視すべきものであること。広報などで市民から募集する際は、「見る側の印象に残り、対外的なアピールも期待できること。」とする。
<ul style="list-style-type: none"> • 雇用の拡大と考えれば道外からの進出が理想であるが、市内業者でも新函館北斗駅前に来ることは新たな商業圏となり雇用の増加につながると考えており、情報があれば企業等と条件面等で交渉していきたいと考えている。 • 立地状況によって企業の考え方も変わってくると思うので、その辺は連絡を取りながら進めていきたいと考えている。 • PRは、最初に接触があったときに行うが、その後は、検討していただくという状況が見えれば具体的話をしていくという形で行っている。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 企業誘致だけでなく、観光面、交流人口の増加につなげていかなければならないということで、今後、市内の業者、商店会等を交えながら、こういった取り組みができるのかということも含めて検討していきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> • 企業が参加する研修会やセミナーなどに参加して市の支援制度や駅前地区の商業地等の情報を提供しながら企業誘致を推進していく。また、東京北斗会や市内金融機関、北海道等からの情報をもとに企業等に接触していく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 質問をふまえ、具体例を含めた記述に修正する。 （修正案） 1 企業誘致の推進 ②首都圏や北海道新幹線沿線等で開催される企業立地セミナーなどで新函館北斗駅前地区の立地環境や支援制度などのPR活動を行うとともに、関係機関等と連携を図りながら企業訪問による企業の立地動向と企業ニーズを把握した中で企業誘致を推進します。

基本計画1 企業誘致の推進と雇用の拡大

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
5	質問	<p>共通事項（計画）</p> <p>・主要施策は具体的な取り組みというよりも目標ということか。</p>	
6	意見	<p>主要施策（1）</p> <p>・どのように企業誘致をしていくのかというところで、北斗市の強みを活かしていくのであれば、こういう企業に来てほしいとか、もう少し積極的にアプローチしていく姿勢が見えないのが残念である。</p> <p>・企業誘致でいろいろ考えていると思うが、北斗市でなくても同じことが言えるのではないかという印象がある。</p> <p>・持続の可能性、発展性があるということを中心にアプローチしていくとか、もう少し積極的にアプローチしていく姿勢が主要施策の中に書かれていてもいい。</p>	<p>1 企業誘致の推進</p> <p>①高速交通アクセスに恵まれた本市の立地環境を活かし、豊富な地域資源や労働力を活用できる企業誘致を推進します。</p> <p>②首都圏や北海道新幹線沿線でのPR活動や企業訪問、各種イベントを通じ、企業の立地動向と企業ニーズの把握に努めます。</p> <p>③地域企業及び高等教育機関、試験研究機関などと連携し、企業ニーズに対応した支援策の充実を図ります。</p> <p>④鉄道、空路、海路などの流通環境に恵まれた工業適地としての優位性に着目し、誘致可能な工業適地の把握と情報の提供に努めます。</p>
7	意見	<p>主要施策（1）</p> <p>・冬場に、今まで活用していなかった「きじひき」にスノーモービルやスノーボードのコースを作って若者を取り込むのも産業の創出ということでやってもらいたい。そのためには大手の商社やデベロッパー等を巻き込んでやっていくのはどうか。</p>	<p>1 企業誘致の推進</p> <p>①高速交通アクセスに恵まれた本市の立地環境を活かし、豊富な地域資源や労働力を活用できる企業誘致を推進します。</p> <p>②首都圏や北海道新幹線沿線でのPR活動や企業訪問、各種イベントを通じ、企業の立地動向と企業ニーズの把握に努めます。</p> <p>③地域企業及び高等教育機関、試験研究機関などと連携し、企業ニーズに対応した支援策の充実を図ります。</p> <p>④鉄道、空路、海路などの流通環境に恵まれた工業適地としての優位性に着目し、誘致可能な工業適地の把握と情報の提供に努めます。</p>
8	意見	<p>主要施策（2-①）</p> <p>・新たな産業づくりを具体的に記載すべき。</p>	<p>2 新たな産業の創出</p> <p>①高速交通拠点としての機能を活かした観光産業をはじめ、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・総合計画は総論と基本構想、審議をいただいている基本計画、その下に具体的な事業について説明している実施計画があり、この基本計画は具体的な個々の事業を記載するものではなく、目標に向けた施策の目的や取組方向について示すもの。</p>	
<p>・新駅周辺地区の立地企業に対する助成制度を創設し、特に宿泊業や飲食店、小売店、事業所等が複数入居可能な不動産を建設する事業に対して他の事業より優遇した制度として力を入れており、業種を絞り込んで重点的にアプローチすることも効果的であると考えているが、新駅前地区以外、商業施設以外での企業誘致も重要であると考えている。</p>	<p>・特定の企業を対象とした内容にした場合に門戸を狭めているとの印象を与えることも懸念されることから、全般的な内容にとどめたいと考えており、修正はしないこととする。</p>
<p>・冬場の観光は全道共通の課題であり、通年型観光には取り組んでいかなければならないと考えているが、現段階では具体的な事業を示す段階ではないと考えている。</p>	<p>・提案された内容については、今後の実施計画での検討課題の一つであると考えており、修正はしないこととする。</p>
<p>・新幹線の開業に向けて観光振興に力を入れてきたところであり、飲食店、宿泊業を含めて観光産業を本市における新たな産業として位置づけて、力を入れていきたいと考えている。また、一次産業から三次産業のそれぞれの分類のどれか一つに当てはまらない企業も出てきているので、そういった複合的な企業も含めて考えていきたい。</p>	<p>・抽象的な表現のであった前段の部分をセールスポイントである「交流人口の増加」に変更することとしたほか、当初は「新たな産業」と表現していた後段の部分の「新たな」を削除し、表題の「新たな産業の創出」が観光産業を含めた内容となるように修正した。 （修正案） 2 新たな産業の創出 ①交流人口の増加などの北海道新幹線効果を活かし、宿泊業などの観光産業や一次産品などの地域資源を活用した産業の創出を促進します。</p>

基本計画1 企業誘致の推進と雇用の拡大

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
9	質問	共通事項（計画）	
		・具体的な手法の例がない。	
10	意見	共通事項（計画）	
		・富川神社から高速道路のところに風力発電をやったらどうかという案を出しているが、是非、ここに風力発電を加えていただきたい。	

基本計画2 農林業の振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
11	質問	共通事項（計画）	
		檜山で舞茸栽培をやっている知人が、北斗市でやってみたいという話がある。農業なのか企業誘致なのかわからないが、いい案があれば紹介したいので、どこが所管か教えてほしい。	
12	質問	主要施策（2）	
		温泉熱を利用した実験農場を作ること考えてはどうか。	
13	意見	主要施策（2）	2 農業経営の安定化 ③流通コストの削減や高付加価値を図るため、農産物の生産、加工、販売を一体化する農業の6次産業化を推進します。
		一次産業にもITの取り込みを積極的に考えてみてはどうか。	
14	質問	主要施策（2-③）	
		農業経営の安定化に6次産業化の推進とあるが、失敗例があると聞いている、北斗市として推進していくべき事なのか。	

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の下に、毎年度見直しをしながら個別の事業を整理する実施計画があり、この基本計画は基本目標のに向けた方向性を示すものである。第2次計画では、市民がわかりやすいように成果指標を設定している。 	
<ul style="list-style-type: none"> 売電を目的とした風力発電になると大規模な施設整備が必要になってくるということを考えると、将来的な管理経費や撤去費用など不透明な部分もあり、市で施設整備して取り組む考えはないが、民間業者から適地などの相談があった場合の相談については対応していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 市として施設整備する考えはないことから、施策の追加はしない。

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> 農業や林業ということであれば農林課へ相談していただきたい。また、企業誘致という側面もあれば、経済部へ相談していただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 市が実施することは現時点及び将来においても考えていないものの、生産者として取り組みたい旨の意向が寄せられた場合には、温泉排湯熱の有効活用策として検討すべきものと考えている。ただし、農業の振興という部分での施策としては積極的な考えにはない。 	
<ul style="list-style-type: none"> 主要施策2 農業の安定化の①施設園芸作物の作付拡大で、ハウスの自動開閉など実証試験中で、結果がでていない状況である。また、③において高付加価値化を図る旨を記載しており、そこに含まれる具体策であることから、今後の実施計画策定に向けた検討材料にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 質問をふまえ、6次産業化については、その取組を支援すると記述を修正する。また、IT化の取組に関する質問についても同主要施策で記載する。 （修正案） 2 農業の安定化 ③流通コストの削減や高付加価値化を図るため、農業の生産、加工、販売を一体化する6次産業化に向けた様々な取組やITを活用したスマート農業などの取組を支援します。
<ul style="list-style-type: none"> 生産者が流通コストを抑えるため、自ら生産、加工、販売すること、また、商工業者と連携して行うケースがある。失敗例があるということだが、北斗市には成功例もある。市が取り組むのではなく、あくまでも生産者が取り組むべきものであり、市はそれに対する支援をするという役割と考える。 	

基本計画2 農林業の振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
15	意見	<p>成果指標</p> <p>6次産業化の推進には、いくつかの試行錯誤、プロセスが必要と思うが、成果指標に取り入れてはどうか。</p>	
16	意見	<p>主要施策（2-①）</p> <p>個々の事業の例示や具体的な手法を明記すべき。</p>	<p>2 農業経営の安定化</p> <p>①水稲や野菜など土地利用型作物については、担い手農家への集積を図り、施設園芸作物の作付拡大に努めます。</p>
17	意見	<p>主要施策（3-①）</p> <p>個々の事業の例示や具体的な手法を明記すべき。</p>	<p>3 担い手の育成</p> <p>①新規就農希望者の受け入れなど、新たな青年農業者の育成・確保に努めます。</p>

基本計画3 漁業の振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
18	意見	<p>主要施策（2-①）</p> <p>・第一次産業におけるIT活用の取り組みについても考えていくべきだと思います。地元の研究機関等を活用するなど積極的に取り組んではどうか。</p>	<p>2 つくり育てる漁業の推進</p> <p>①養殖施設の更新、整備を進めるとともに、稚魚及び種苗放流を促進します。</p>
19	意見	<p>主要施策（3-①）</p> <p>・北斗フィッシャリーについて、現状では案内看板が目立たないなどの課題もあるが、うまくこの直売店を活用して販路拡大に繋げてはどうか。</p>	<p>3 水産物の消費と販路の拡大</p> <p>①漁協広域合併によるスケールメリットを活用し、販売体制の確立を促進するほか、直営店、インターネットを活用した直販事業を促進します。</p>
20	意見	<p>主要施策（3-②）</p> <p>・地域ブランド化の推進については、農業、水産業が一体となって考えたほうがよい。また、流通や消費者のことも含めて、効果的に進めてもらえればと思います。</p>	<p>3 水産物の消費と販路の拡大</p> <p>②北斗市沿岸で水揚げされる多品種の水産物のPRなど、地域ブランド化の推進による生産拡大と積極的な販路拡大による安定した販売を促進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ・推進する具体的な施策として、国において助成制度が構築されていることから、その情報提供に努めることを想定しているものであるが、その際、市の予算を通らずに生産者と国が直接やり取りすることになり、実績の把握が困難である。また、6次産業化の定義も曖昧であり、現状地の把握も出来ない状況にあることから成果指標としては取り上げにくいものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状値の把握が困難であることから、修正しないこととする。
<ul style="list-style-type: none"> ・具体の事業を記載する。 	（修正案） 2 農業の安定化 ①水稲や野菜など土地利用型作物については、担い手農家への集積を図り、施設園芸用ハウス等導入事業の実施により、施設園芸作物の作付拡大に努めます。
<ul style="list-style-type: none"> ・具体の事業を記載する。 	（修正案） 3 担い手の育成 ①農業新規参入者支援事業などを実施し、新規就農希望者を受け入れることにより、新たな青年農業者の育成・確保に努めます。

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<ul style="list-style-type: none"> ・漁場環境の保全や水産資源の適正管理を図り、つくり育てる漁業をさらに進める際に、ITの活用も1つの方法だと思うので、本市の漁業形態等を考慮したなかで、漁業者が主体となった資源管理について、調査・研究していきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見をふまえ、IT活用に関する記述を追加し、修正する。 （修正案） 2 つくり育てる漁業の推進 ①ITを活用した漁業管理方法の効果検証を実施しながら、養殖施設の更新、整備を進めるとともに、稚魚及び種苗放流等を推進します。
<ul style="list-style-type: none"> ・北斗フィッシャリーの活用については、運営している上磯郡漁協と連携を図り、より効果的なPR方法を協議していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、直営店の効果的なPR方法等の文言を追加し、修正する。 （修正案） 3 水産物の消費と販路の拡大 ①広域漁協としてのスケールメリットを活用した販売体制の確立を促進するほか、直営店のより効果的なPRなどやインターネットを活用した直販事業を促進します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化に推進については、農業、水産業での一体的な取組は現状困難であるが、水産業については、多品種の水産物のPRなどを中心に進めていきたいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、水産業での一体的な取組は現状困難であり、水産業については、主要施策3-②で記載している「多品種の水産物のPRなど」を中心に進めていくことから、修正しないこととする。

基本計画3 漁業の振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
21	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・上磯郡漁協は、北斗市、知内町、木古内町で構成されているので、北斗市だけ良くなればとはいかないが、全体が良くなることも悪いことではない。どのような認識で検討すればよいのか。</p>	
22	質問	<p>成果指標（NO.3）</p> <p>・成果指標にある「新規漁業者」の数値は経営体数か。</p>	<p>成果指標3 新規漁業者の確保 現状13名 将来目標値23名</p> <p>成果指標の現状値及び将来目標値について 3現状値は、平成28年度までの新規就漁者数 目標値は、北斗市創生総合戦略重要業績評価指標（年間1人）</p>
23	意見	<p>主要施策（3-④）</p> <p>・主要施策に「付加価値を高めるため」とあるが例えば、夏場にたくさん獲れるイワシなどを冷凍保存し、冬場に何かしらの加工などして販売するなど方法を提案してみてもどうか。</p>	<p>3 水産物の消費と販路の拡大 ④付加価値を高めるため、地域や関係団体とともに加工製品の研究・開発を促進します。</p>

基本計画4 商工業の振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
24	質問	<p>成果指標（NO.1）</p> <p>・平成27年の新規創業者数は1件ですか。</p>	<p>[成果指標の現状値・将来目標値について] 1 現状値は、市の融資制度、補助制度の利用実績。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・北斗市の漁業振興を中心として考えているが、広域合併による経営基盤の強化やスケールメリットを活かし、水産物の販売などによりお互いに売上向上を図る。</p>	<p>・広域を担う漁協と引き続き協議・検討していく事項であることから、修正しないこととする。</p>
<p>・新規就漁者であり、漁協組合員資格を持つ後継者も含まれている。</p>	<p>・意見を踏まえ、成果指標の現状値・将来目標値について3の現状値に関する記載内容に期間と新規就業者の考え方を追加し、修正する。 （修正案） 成果指標の現状値及び将来目標値について3現状値は、平成20年度から平成28年度までの新規就漁者数。 ※新規就漁者数については、漁協組合員資格を新たに取得した後継者も含む。</p>
<p>・漁協とともに、付加価値を高めるようなものを研究・調査し協議していきたいと考えている。</p>	<p>・意見を踏まえ、主要施策3-④に低・未利用資源等の文言を追加し、修正する。 （修正案） 3 水産物の消費と販路の拡大 ④低・未利用資源等の付加価値を高めるため、地域や関係団体とともに加工製品の研究・開発を促進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・把握できる部分として、市の融資制度、補助制度を利用した件数としており、新駅前企業立地は除いている。</p>	<p>・制度名を明確に記載するよう修正する。 [成果指標の現状値・将来目標値について] 1 現状値及び目標値は、市の起業化振興資金利子補給補助金及び創業バックアップ助成金の利用実績。</p>

基本計画5 観光の振興

NO.	区分	内容	該当箇所（修正前）
25	意見	<p>共通事項（計画）</p> <p>・観光客目線を捉えて、北斗市の良さを最大限に発揮できるような施策をやっていくといような形にすると、より発展的になるのではないか。</p>	<p>3 観光客受入体制の充実</p> <p>②観光ニーズに対応した適切な情報を提供するため、観光案内所やきじひき高原パノラマ展望台など、観光客受入体制の充実を図ります。</p>
26	意見	<p>主要施策（1）</p> <p>・観光農園を作って、温泉水を利用したイチゴ狩りなど、収穫体験ができる施設があれば良い。</p>	<p>1 観光資源の充実及び周遊観光の推進</p> <p>③観光協会や関係団体等と連携して、豊富で新鮮な食資源や四季が明確な自然環境を活かし、体験型、滞在型、通年型観光の確立と商品化に努めます。</p>
27	意見	<p>主要施策（1）</p> <p>・観光スポットを訪れるためには、道路状況の把握や整備も重要な事項である。横断的な体制、視点、関係機関の連携が必要であり、それがなければ観光は前に進まない。</p>	
28	意見	<p>主要施策（1-③）</p> <p>・四季によって観光客数も変わり、観光業の従事者数にも増減があるが、その辺りでうまくやり方を行う考えはどうか。</p>	<p>1 観光資源の充実及び周遊観光の推進</p> <p>③観光協会や関係団体等と連携して、豊富で新鮮な食資源や四季が明確な自然環境を活かし、体験型、滞在型、通年型観光の確立と商品化に努めます。</p>
29	意見	<p>主要施策（5-①）</p> <p>・北斗市の基本計画であることから、北斗市中心で記載されているが、隣の函館市や七飯町などとの連携を、もう少し強く意識して書かれても良いのではないか。</p>	<p>5 広域観光の推進</p> <p>①みなみ北海道の玄関口として市観光交流センターの機能充実を図るとともに、地域自治体や交通事業者との連携により、周遊観光ルートの構築やイベント企画、旅行商品化を促進します。</p>

市の考え方	修正内容・修正文案（事務局案）
<p>・観光産業は多分野に及び裾野の広い産業で、観光客が求めるニーズも多様である。また、今後増大が見込まれるインバウンドへの対応なども含め、観光客目線で見つめ直すという感覚は重要である。</p>	<p>・意見をふまえ、観光客目線に関する記述を追加し、修正する。 （修正案） 3 観光客受入体制の充実 ②観光客目線を重視し、観光ニーズに対応した適切な情報を提供するため、観光案内所やきじひき高原パノラマ展望台など、観光客受入体制の充実を図ります。</p>
<p>・市内には、民間の体験農園等があることから、ホームページでの情報発信など誘客促進に繋がる取組を支援していく。また、体験型観光の確立し、旅行商品化を進めていく。</p>	<p>・主要施策1-③で体験型観光の確立と商品化に関する記載があることから、修正はしないこととする。</p>
<p>・観光振興の取組のみならず、横断的な取組や関係機関との連携は、市政全般に通じる事項である。事業の執行に当たっては、常に意識して取り組んでいく。</p>	<p>・観光振興の取組のみならず、横断的な取組であることから、観光振興の取組では修正はしないこととする。</p>
<p>・冬季の観光入込客の落ち込みは道内共通の課題であることから、観光協会と連携し、体験型、滞在型、通年型という観光確立を目指していく。また、冬季イベントやスキー場など、近隣市町との連携も重要だと考える。</p>	<p>・主要施策1-③で通年型観光の確立について、記載しており、冬季の対応も含んでいることから修正はしないが、冬季イベントなどで近隣市町との連携が重要であることから、新たに主要施策5-②を掲げ近隣自治体との連携を追加する。 （追加案） 5 広域観光の推進 ②広域連携組織や近隣自治体、交通事業者などとの連携により、周遊観光ルートの構築や冬季のイベント企画、旅行商品化を促進します。</p>
<p>・新函館北斗駅は、函館市や七飯町、その他渡島、檜山に向けた交通アクセスの拠点であり、道南エリアの各観光地への始終着地点となる。機能や立地環境は、みなみ北海道の玄関口という表現をしているが、周辺市町との連携について明記し、広域観光を強く意識していく記載も必要であると考え。</p>	<p>・意見をふまえ、わが国を代表する観光地であり、ブランド力のある函館市を明記した表現に修正する。 （修正案） 5 広域観光の推進 ①わが国有数の国際観光都市である函館市をはじめ、美しい自然や歴史とロマンあふれる南北北海道エリアへの玄関口となる新函館北斗駅併設の観光交流センターの機能充実を図ります。 ②広域連携組織や近隣自治体、交通事業者などとの連携により、周遊観光ルートの構築やイベント企画、旅行商品化を促進します。</p>